

令和元年（2019）8月 入域観光客数概況

令和元年9月発表
(令和元年11月修正)

102万1,200人
対前年(H30)同月比 △20,300人、△1.9%
～8月における過去2番目の入域観光客数～

入域状況

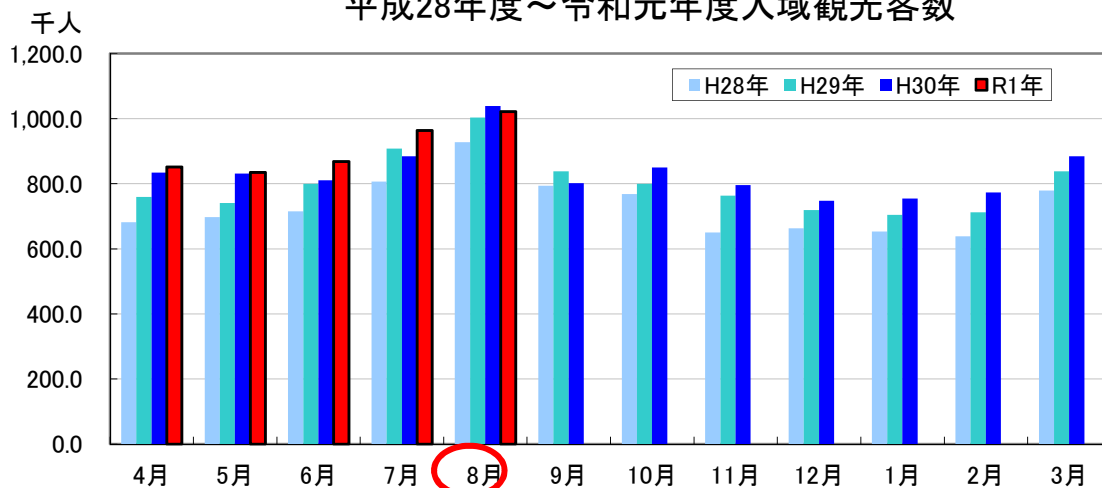
入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	738,300 人	741,500 人	△ 3,200人	△ 0.4%	72.3%
外国客	282,900 人	300,000 人	△ 17,100人	△ 5.7%	27.7%
合計	1,021,200 人	1,041,500 人	△ 20,300人	△ 1.9%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	738,300 人	741,500 人	△ 3,200人	△ 0.4%	75.0%
外国客	246,700 人	261,200 人	△ 14,500人	△ 5.6%	25.0%
合計	985,000 人	1,002,700 人	△ 17,700人	△ 1.8%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。
9月は引き続き台風の影響が懸念されるものの、前年同月と比べて航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、香港デモの影響による空港の閉鎖があったこと等から、前年を下回った。
9月は、引き続き韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便が予定されていること等から、厳しい状況が予想される。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	357,200 人	362,800 人	△ 5,600人	△ 1.5%	48.4%
関西方面	160,200 人	156,000 人	+ 4,200人	+ 2.7%	21.7%
福岡方面	88,300 人	88,800 人	△ 500人	△ 0.6%	12.0%
名古屋	64,200 人	62,300 人	+ 1,900人	+ 3.0%	8.7%
その他	68,400 人	71,600 人	△ 3,200人	△ 4.5%	9.3%
合計	738,300 人	741,500 人	△ 3,200人	△ 0.4%	100.0%

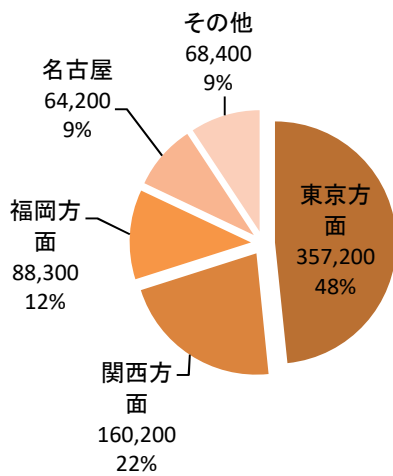
※国内海路客2,400人を含む(鹿児島2,400人)

外国客 国籍別入域状況

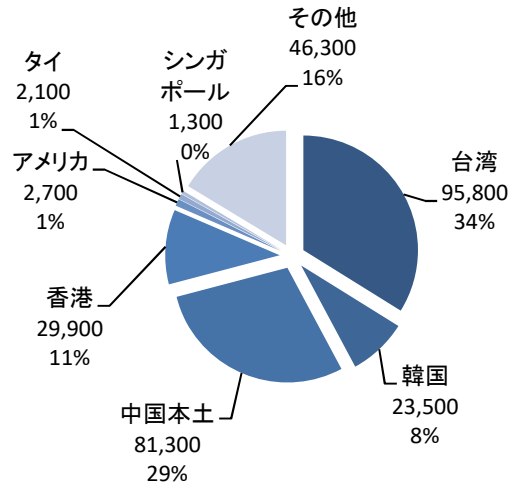
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	95,800 人	95,800 人	91,700 人	+ 4,100人	+4.5%	33.9%
韓国	23,500 人	23,500 人	42,000 人	△ 18,500人	△44.0%	8.3%
中国本土	81,300 人	81,300 人	77,200 人	+ 4,100人	+5.3%	28.7%
香港	29,900 人	29,900 人	32,300 人	△ 2,400人	△7.4%	10.6%
アメリカ	2,700 人	2,700 人	2,300 人	+ 400人	+17.4%	1.0%
タイ	2,100 人	2,100 人	2,400 人	△ 300人	△12.5%	0.7%
シンガポール	1,300 人	1,300 人	900 人	+ 400人	+44.4%	0.5%
その他	46,300 人	10,100 人	51,200 人	△ 4,900人	△9.6%	16.4%
合計	282,900 人	246,700 人	300,000 人	△ 17,100人	△5.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	64,900 人	64,900 人	+0.3%	43.3%	30,900 人	30,900 人	+14.4%	23.3%
韓国	23,300 人	23,300 人	△44.4%	15.5%	200 人	200 人	+100.0%	0.2%
中国本土	27,000 人	27,000 人	+3.4%	18.0%	54,300 人	54,300 人	+6.3%	40.9%
香港	22,900 人	22,900 人	△4.6%	15.3%	7,000 人	7,000 人	△15.7%	5.3%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+16.7%	1.4%	600 人	600 人	+20.0%	0.5%
タイ	2,000 人	2,000 人	△9.1%	1.3%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
シンガポール	1,200 人	1,200 人	+50.0%	0.8%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
その他	6,600 人	6,600 人	+50.0%	4.4%	39,700 人	3,500 人	△15.2%	29.9%
合計	150,000 人	150,000 人	△9.6%	100.0%	132,900 人	96,700 人	△0.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、お盆休みの日並びが良かったものの、台風の影響による航空路線の欠航や、ツアーキャンセルの発生あったこと等から、前年を下回った。
9月は、引き続き台風の影響が懸念されるものの、先行割引航空券やダイナミックパッケージが販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

8月は、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、全国高等学校総合体育大会による団体旅行等の受注が良好であったこと等から、前年を上回った。
9月は、引き続き台風の影響が懸念されるものの、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

8月は、全国高等学校総合体育大会による団体旅行等の受注が良好であったものの、台風の影響による航空路線の欠航があったこと等から、前年を下回った。
9月は、引き続き台風の影響が懸念されるものの、一部旅行会社の旅行商品の販売が良好であることや団体旅行の販売強化の取り組みがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

8月は、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、航空会社の提供座席数の増加や旅行会社の離島旅行商品の販売が良好だったこと等から前年を上回った。
9月は、引き続き台風の影響が懸念されるものの、航空会社の提供座席数の増加や、旅行会社の離島旅行商品の販売が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

台湾

8月は、夏休みの旅行需要の高まりがあったことや、大型クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。
9月は、クルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、中秋節連休の旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

韓国

8月は、訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、韓中関係改善による中国への渡航需要の回復やベトナム人気など渡航先の多様化等から、前年を下回った。
9月は、引き続き訪日旅行自粛の動きに加え、航空路線の減便が予定されていること等から、厳しい状況が予想される。

中国本土

8月は、夏休みシーズンによる旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
9月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、中秋節連休の旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

香港

8月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、香港デモによる空港閉鎖があったこと等から前年を下回った。
9月は、引き続き香港デモの影響が懸念されるものの、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることや、香港発のクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。